

(別添)

専門高度化基盤科目（共通5領域科目）

授業科目名	地域協働と学校づくり			講義・演習	
科目区分	選択必修	授業形態	複数（TT）	単位数	2単位
担当教員名	梨本雄太郎、市瀬智紀、小田隆史、佐々木孝徳、信太昭伸、本図愛実				
授業の目的	学校づくりにおいては地域教育資源を活用しつつ、カリキュラム・マネジメントを行っていくことが重要である。それらを通じた子どもの学びの質の向上と各教員の成長について考え、勤務校等の実態に応じた地域協働学校計画の在り方を考察する。				
授業の概要	組織マネジメントとカリキュラム・マネジメントを土台とし、地域教育資源の活用について、その多元性、多様性を事例とともに考察し、地域協働による学校づくりの在り方について検討する。防災、歴史、地理、国際関係などを取り上げる。これらを基に、見直しの視点を明確にしつつ、効果的な地域協働学校計画の実現を目指す。クラスルーム：7msh6sh				
学習の到達目標	地域教育資源の活用とカリキュラム・マネジメントに関する基本的な知識を習得し、それに基づいた地域協働学校計画を見直し改善する視点（現職）あるいは効果的な授業デザイン（学部新卒生）を提案することができる。				
授業の内容	1	ガイダンス・（梨本・全員）			
	2	地域教育資源の活用と事例（国際関係）（市瀬）			
	3	地域教育資源の活用と事例（仙台市）（小田）			
	4	地域教育資源の活用と事例（小中学校段階・歴史）（小田・全員）			
	5	地域教育資源の活用と事例（地域防災・学校安全）（全員）			
	6	地域教育資源の活用と事例（現地学習）（全員）			
	7	地域教育資源の活用と事例（現地学習振り返り）（市瀬）			
	8	地域教育資源の活用と事例（防災・地理）（小田）			
	9	地域協働による学習と学校づくりの意義と課題（梨本）			
	10	地域教育資源の活用と事例（仙台市）（小田）			
	11	探究的な学びとカリキュラム・マネジメントならびに授業改善（信太・佐々木・本図）			
	12	地域教育資源の活用と事例（SGH/高等学校段階）（市瀬）			
	13	地域協働学校計画の見直し・討議（全員）			
	14	地域協働学校計画の見直し・授業デザインに関する発表・討議（全員）			
	15	地域協働学校計画の見直し・評価に関する発表・討議（全員）			
教科書・参考書等	参考書：仙台市教育委員会（2021）『仙台市教育構想2021』/ ACCU(2021)「変容を捉え、変容につながる評価のカタチ」/ 教職員支援機構(2021)『学校と地域の連携から考える学校改善の視点』				
評価の観点・方法	観点：①SDGsの展開を含む地域協働に関する理論的な動向を理解することができたか。②地域教育資源の活用とカリキュラム・マネジメントに関する基本的な知識を習得できたか、③それらを踏まえた地域協働学校計画の見直しの視点をもち、具体的対応を効果的に提案することができるか 方法：テーマごとに課す小レポート（50%）、最終レポート（50%）				

成績評価	
標準的な到達水準	<p>・基準（評価B）</p> <p>SDGsの展開を含む地域協働に関する理論的な動向を理解し、地域教育資源の効果的な活用を含む、地域協働学校計画の見直しの視点をもっている。</p>
S	地域教育資源の効果的な活用を含む地域協働学校計画について、先進的で包括的な提案をすることができる。
A	地域教育資源の効果的な活用を含む地域協働学校計画について、見直しの視点をもち、実効性の高い提案をすることができる。
B	地域教育資源の効果的な活用を含む地域協働学校計画について、見直しの視点をもち、具体的な提案をすることができる。
C	SDGsの展開を含む地域協働に関する理論的な動向を理解し、地域教育資源の効果的な活用について知っている。
D	SDGsの展開を含む地域協働に関する理論的な動向、地域教育資源の効果的な活用についての理解が不十分である。
講義時間外に必要な学修時間の目安	120分